

岩根小コミュニティスクール構想

学校が、保護者や地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力して一体となって幼児児童生徒の健やかな成長を図っていくためには、地域住民が学校運営に参画する取り組みを進めることが大切です。

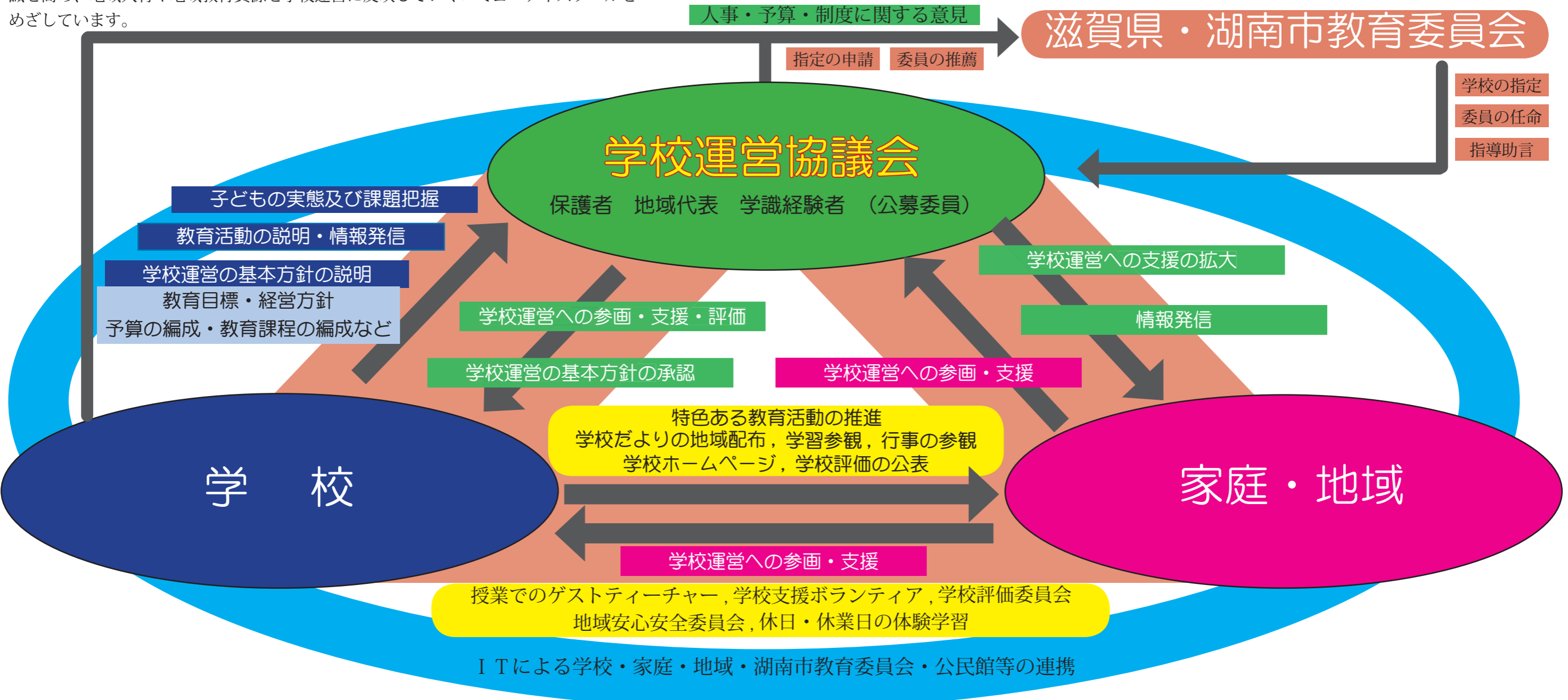
こうした中、平成16年6月に地方教育行政の組織および運営に関する法律が一部改正され、地域住民と保護者が学校づくりに積極的に参画できる「学校運営協議会」が制度化されました。

そこで岩根小学校では、校長の教育理念のもと学校運営協議会を中心にして、地域の方々の学校への参画意識を高め、地域人材や地域教育資源を学校運営に反映していくコミュニティスクールをめざしています。

地域に開かれた学校づくりの推進

【学校評価の工夫と創意ある教育課程の編成】

- 子どもの学習状況を教育課程の実施状況について自己点検、自己評価を適切に行い、学校運営、教育課程、指導計画について見直し改善を図ります。
- 学校の教育目標や方針をあらゆる機会を通じて説明するとともに、外部評価(学校評価委員会)を導入し保護者や地域住民の声を学校運営に生かします。



地域に根ざした学校づくりの推進

【地域の人材等、社会人活用の推進】

- 地域において、専門的な知識や技能をもった社会人等の活用を図るための「人材バンク」や「学習支援ボランティア」等を設置して多くの人材の協力が得られるよう連携に努めるとともに、豊かな人間性と豊富な経験や知識から学ぶ学習の推進に努めます。

安全・安心な学校づくりの推進

【校内や登下校での安全確保についての体制整備】

- 子どもへの危害を未然に防ぐため、教職員による安全確保体制の整備充実を図るとともに施設設備を点検し整備に努めます。また、保護者や地域安心安全委員会、関係機関と連携し、学校内外の巡視や不審者出現時の危機管理マニュアルの機能的な活用等の対策を実施します。